

国家戦略特区諮問会議

クールジャパン外国人材の受入れに関する提言

2016年2月5日

A.T. カーニー日本法人会長 梅澤高明

<受入れの必要性>

- 内閣官房「クールジャパン戦略推進会議」（2015年）報告書では、「クールジャパン戦略深化のための5つの視点」として外国人材の活用を確認
 - （3）世界中から日本に人材を引きつける「人材ハブ」を構築する
 - （4）日本の魅力を外国人目線で再編集し、外国人と協働して発信・展開する
 - （5）地方の魅力を、海外で受け容れられるようにプロデュースする
- 外国人材の活用は、単なる「人材不足の解消」ではなく、クールジャパン産業が世界で稼ぐための「人材の質的強化」、インバウンドを軸とした「地方創生の戦闘力向上」の施策
- （例）ロンドンは、「クリエイティブシティ」（創造産業を基軸とする都市）としての競争力を外国人材に大きく依存
 - 英デザイン大学院 RCA は卒業生の過半が留学生。彼らの多くが卒業後もロンドンに残り、デザイナー、サービス・アプリケーション開発者、広告ディレクター等として、英国の広告・メディア産業、デザイン産業、デジタル系ベンチャーの中核人材に

<制度改革・人材戦略策定のニーズ>

- ニーズが明確な分野ごとに受入れ基準を策定・公示し、企業・就業希望者にとっての「予見可能性」を担保すべき
- 例①料理人：国内の調理学校の卒業生（専門士）、および海外で同等の経験を持つ料理人（料理の種類を問わず就業ビザ発給）
- 例②飲食店・小売店・ホテルなどの運営・接客人材：国内の該当する専門学校卒業生（専門士）の内、一定の実務・インターン経験を持つ者
- 例③美容師、ネイルアーティスト、エステティシャン：国内の専門学校の卒業生（専門士）、美容師の国家資格取得者など
- さらに、「国家の人材戦略」の観点から、「外国人受入れの総合戦略」を策定すべき。
 - 高度人材・各種専門人材を中心に、産業の高度化戦略を踏まえて策定。基幹人材候補の長期就業・永住を促進する

クールジャパン戦略官民協働イニシアティブ

- クールジャパン戦略の深化を目的に、本年1月より、官民メンバー参加の下、「クールジャパン戦略推進会議」を開催。
- 「クールジャパン戦略深化のための5つの視点」に基づき、「民間の取組モデル」と「政府の今後の取組」を取りまとめ。

クールジャパン戦略深化のための5つの視点

1. 様々な取組に**横串**を刺し、デザイン視点での編集によって魅力を高める。
2. 官民の活動を俯瞰し、相互に**連携**させる。
3. 世界中から日本に人材を引きつける「**人材ハブ**」を構築する。
4. 日本の魅力を**外国人目線**で再編集し、外国人と協働して発信・展開する。
5. **地方**の魅力を、海外で受け入れられるようにプロデュースする。

クールジャパン戦略深化のための 民間と政府の取組

民間の4つの取組モデル - プロジェクトアイデア -

政府の支援も活用しつつ、民間において以下のプロジェクトが具体化されることを期待

デザイン分野 海外のデザイン人材を取り込むため、

「デザインラボ/スクール」を設立する。

コンテンツ分野 音楽業界一体となった海外進出を後押しする

「エージェント組織」及びコンテンツ利活用の拠点を設立する。

食分野 「食の大学院」や「重点都市拠点」等の設立を通じ、

日本食の魅力を発信するシステムを構築する。

地方・観光分野 地方の魅力の発掘・磨き上げを行う

「ローカル・クールジャパン・プロデュース事業」体制を設立する。

政府の5つの横断的取組 - アクションプラン -

1. 官民連携プロジェクトを組成するため、**「官民連携プラットフォーム」**を創設する。
2. 各分野の**人材・情報**の集積・発信拠点の構築を目指す
民間の取組を、政府が連携して支援する。
3. 日本ファンの**外国人**などを**アンバサダー**としてネットワーク化する。
4. ジェットロ等や地方自治体と連携し、
地方における**クールジャパン相談窓口**を整備する。
5. **地域グローバルリーダー**をリスト化し、地方に情報提供する。

※上記を含め、「情報発信」、「海外展開」、「インバウンド振興」、「地方の魅力の発掘・発信」に係る合計32の取組を実施。